

阿波市全庁評価シート 平成23年度実施事業対象

PLAN	No.	37	-	1	基本事務事業名	選挙管理委員会事務	事務事業名	選挙啓発事務	公的関与	1	シート作成日	平成24年7月6日			
	部局名	選挙管理委員		課名	選挙管理委員		主務課長名	町田 寿人		シート作成者名	中野 貴博				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的業務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)				該当なし				実施計画					
		基本計画(施策)								<input type="radio"/> 1 該当					
		主要施策								<input checked="" type="radio"/> 2 非該当					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		児童・生徒・新成人・若年層											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	公正な選挙の理解・投票意識高揚への啓発により投票率の向上を図ります。										
				今年度	成人式時の啓発活動・啓発ポスターの募集・広報誌での啓発を実施します。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	市内小・中学校の児童及び生徒から明るい選挙の啓発ポスターの募集を行います。														
	成人式において啓発誌等を配布します。														
	広報誌・ホームページによる選挙啓発を実施します。														
	広報車・ケーブルテレビ等による投票の呼びかけを行います。														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標						
	啓発ポスター応募率		応募率により、児童・生徒の選挙への関心の度合いを測ります。		%	目標 9.5	9.6	9.7	10						
						実績 8.21	7.55								
						目標									
						実績									
						目標									
						実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	2 総務費		項	4 選挙費		目	2 選挙啓発費	
	直接事業費			平成 22 年度決算		平成 23 年度決算		平成 24 年度予算		備考					
		国庫支出金		千円		千円		千円							
		県支出金		千円		千円		千円							
		地方債		千円		千円		千円							
		その他特定財源		千円		千円		千円							
		一般財源		122 千円		133 千円		145 千円							
	計(A)		122 千円		133 千円		145 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.083 人	508 千円	0.083 人	502 千円	0.083 人	495 千円						
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		630 千円		635 千円		640 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	全国的に、有権者の政治離れが進み投票率が低下している現状を鑑み、政治への関心を高める必要があります。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	選挙の関心の薄い若年層、児童・生徒を対象に継続的に啓発を推進することにより、公正な選挙の理解・投票意識高揚が期待できます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	平成23年度の徳島県内各市町村の小中学校の啓発ポスターの応募率は平均2.66%。阿波市では7.55%と県内平均の約2.8倍の応募がありますが、市内児童生徒の割にも満たない状況です。(全国のお応募率は、1.22%)	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない		<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	県市町村選挙管理委員会連合会・県明るい選挙推進協議会連合会等と、より緊密に連携することにより、効率的に地域の実情に適応した啓発活動を実施することができる。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない		<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 2	効率性 3	総合評価 B	必要性 3	有効性 4	達成度 2	効率性 3	総合評価 B			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等					
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止						
	当面の課題	最近の各種選挙における投票率は依然として低い水準にあります。市内においても特に若年層有権者の政治離れや政治無関心といった現象が目立っています。投票率はその時々々の政治情勢や候補者等に左右されることも大きいですが、若い有権者にいかにして国や社会の問題に関心をもたせ、社会の一員として公正な選挙の理解と投票意識の高揚の向上が重要な課題となっています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	総務省で「常時啓発事業のあり方研究会」での最終報告がとりまとめられた。これからの常時啓発にとって、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していける教育が必要とされています。今後は、各関係機関、特に学校教育関係との連携をより一層緊密にし、児童・生徒・新成人・若年層を対象とした啓発活動を充実させ、将来に向けた政治的判断能力を育て、投票率の向上を図ります。					公正な選挙への理解と投票率の向上を図るため、積極的な啓発活動に努めて下さい。								
委員会指摘事項														